

Forest Art Festival in Ladakh 2023

プロジェクト参加 募集概要



ラダックでのアートプロジェクトのスタートから8年が過ぎ、パンデミックの悲劇を乗り越えたラダックの人々と私たちが協働して準備を進めているのが、「社会彫刻」としての新しい形のアートプロジェクト「フォレストアートフェスティバル in ラダック 2023」です。

リンゴやアプリコットといったラダックで日常的に食されている果樹、伝統的な家の建材となるヤナギの苗木を日本から訪れたボランティアが植樹。その間に日本とインドの美術家が滞在制作によってアートを点在させます。同時にラダックの学校の児童や芸術家たちを招いてアートワークショップを開催します。

公開日には、アート作品とからめたダンスや音楽演奏の青空公演、学校を会場としての映像上映なども企画。アートのある村で、鑑賞者を招きつつ、エンパワーメントを醸成し、木の生長を長期に渡って見守り、アート作品とともに森となる日を楽しみにする、その行為自体をアートととらえます。

2023年はプロローグとして、植樹と滞在制作を行います。

このプロジェクトへの参加者を募集します！

主催する NPO 法人ウォールアートプロジェクトとは？

2010年より、インドの学校を舞台に現地の人々と協働し、壁画の芸術祭を開催。アートを媒介に国際交流、教育の整備を目指す法人です。外務省外郭団体や財団などの助成を得て、これまでに日本での芸術祭も含めると通算17回の開催実績があります。ラダックでは、気候変動による氷河の後退などを発信する目的で、2014年と2017年に芸術祭を、2018年、2019年にカンファレンスを開催し、現地との交流を深めてきています。NPO 法人ウォールアートプロジェクト公式ウェブサイト：<http://wallartproject.net>

参加者は何をするの？

ラダックの大地に木を植えます。公開日には、ホールでのオープニングセレモニー、アート作品とからめたダンスや音楽演奏の青空公演などを予定しています。参加者の皆さんには、アートワークショップへの参加をはじめ、ボランティアスタッフとして、現地の人々と芸術祭を創り上げる醍醐味を体験していただきます。また、ランチボックスを携えてのピクニックや現地の取り組みに触れる視察なども予定しています。

詳細を伝える説明会（5月2日・10日・20日予定）に任意でご参加いただけます。

[ボランティア参加要項]

日程：6月6日 成田発 デリー着

6月7日 デリー発 ラダック（レー Leh）着

6月8日～12日 ラダック滞在

6月13日 レー発 - デリー着

以降、自由解散（帰国便はレー - デリーのフライトと同日は避け、翌日以降を強くお勧めします）

6月14日 ニューデリーにて報告会を開催（自由参加）

6月15日 デリー発 成田着(16日早朝)

9泊10日（15日の便で帰国の場合。到着は翌16日）ラダック6泊 デリー3泊

[プロジェクト参加費(9泊10日)]：7万5000円 + 航空券代

含まれる費用：デリー市内ホテル3泊宿泊費・市内移動費、ラダック内ゲストハウス6泊宿泊（含む食費）・市内移動費、コーディネーターフィー、植樹樹木代

別途費用は以下となります。

航空券（Air India）目安：18万5千円（デリー - ラダック往復航空券込み）

* 航空券代は燃油サーチャージの変動があるため、現状幅があります。参考値段としてお考えください。

* 航空券手配は、KICトラベル（東京都知事登録旅行業第3-8040号）に直接お申し込みいただきます。

外食費

海外旅行保険の加入(各自・必須)

観光ビザ(Tourist visa)取得費。各自取得していただきます。旅行代理店に代理申請した場合は約1万円。

その他

予防接種は、A型肝炎と破傷風を推奨します。

現地の通信環境 宿泊するゲストハウスに設置されているスマートフォンを用いて、国際電話とネットへの接続が可能です。電波状況がすぐれない場合もあります。中心地レー（車で30分ほど）のネットカフェなどで通話とネット環境への接続が可能です。

飲料水はペットボトルに入ったミネラルウォーター、もしくは煮沸した水をお飲みいただきます。

* 現地での宿泊・交通の手配、プログラムのコーディネーターはウォールアートプロジェクトが担当します。

* 子どもの参加費用に関しましては、個別にご相談ください。

<募集締め切り> 2023年5月22日 参加費の振り込みを以て参加確定とさせていただきます。

<お申し込み・お問合せ> info@wafes.net（担当：ウォールアートプロジェクト 浜尾和徳）

NPO 法人ウォールアートプロジェクト公式ウェブサイト：<http://wallartproject.net>

<場所> インド、ラダック連邦直轄領、マトー村

<現地協力者>

デチェン・チャムガ（写真家・トリニティゲストハウス運営）

シャクンタラ・チャムガ（ソーシャルワーカー）

ナムギャル・ギャルポ（マトー村の王）

ジャミヤング・ツェリン・ナムギャル（マトー村出身の国会議員）

スタンジン・チョスペル（ラダック自治政府の代表評議委員）

マトー寺院



左 シャクンタラ
右 デチェン

< 招聘アーティスト(予定)>

香川大介 (日本/美術家)

<https://www.kagawadaisuke.com>

スギサキハルナ (日本/美術家)

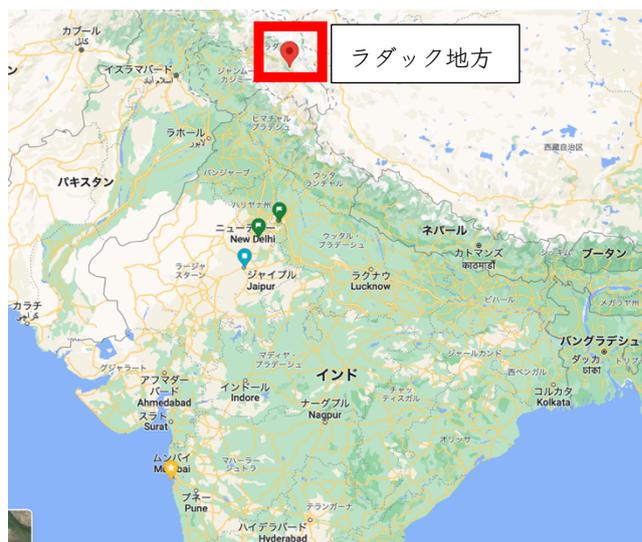
<https://harunasugisaki.wixsite.com/184web>

rryusuque (日本/ハンドパン奏者)

<https://www.instagram.com/rryusuque/>

< 作品公開日 >

6月10日(土)、11日(日)



< 説明会開催(予定)>

5月2日(水) 18:30~

5月10日(水) 19:00~ キックオフイベント

5月20日(土) 16:00~ 締切直前説明会

< お申し込み・お問合せ > info@wafes.net (担当: ウォールアートプロジェクト 浜尾和徳)

NPO 法人ウォールアートプロジェクト公式ウェブサイト: <http://wallartproject.net>

< その他のチームの日程 >

曹洞宗福島県青年会チーム 5月30日 同上 /31日 同上